

自分自身の楽しみをお裾分けして!

●湘南蒲高会主催「鎌倉散策」に参加 その1

12月6日(土)は、湘南蒲高会主催の「2025年紅葉の鎌倉散策」でした。私が「鎌倉散策」に参加させていただくのは2回目で、前は2018年12月の「名越切通しとまんだら堂やぐら群」以来でした。東武スカイツリーライン・武里駅を7時26分発の電車に乗り、北千住(常磐線上野東京ライン)、品川(東海道線)、戸塚(横須賀線)と乗り換えて、途中遅延があったものの9時30分に鎌倉駅に到着することができました。10時までに参加者32名が鎌倉駅西口時計台広場に集合し、平井隆一会長(高21)からのご挨拶、ご案内をお願いしている鎌倉ガイド協会の坂本哲夫会長(高18)からコース等のご紹介をいただいて出発しました。この日のコースは、鎌倉駅東口→バス→浄明寺バス停→報国寺(本堂まで)→旧華頂宮邸→華の橋→一条恵観山荘→青砥藤網邸跡→青砥橋(バス停)→バス→鎌倉駅東口というコースで概ね2時間半というものでした。



◇ ◇

■10回目の「鎌倉散策」 【蒲高同窓会会報『麗和』2023年4月号を参照し】

湘南蒲高会では、春と晩秋に地元を巡る「鎌倉散策」を2016年から行っています。初めての晩秋は「鎌倉宮・荻柄天神社等」、2017年春には「高德院(大仏)・鎌倉文学館等」、2017年の晩秋は「江の島」を散策しました。2018年晩秋からは本部同窓会のサポートも受けて他地区・職域同窓会にも声をかけさせていただきました。2018年の晩秋の「名越切通しとまんだら堂やぐら群」には他地域の会員6名にも参加していただきました。2019年の春には、場所を変えて「大磯史跡散策とオープンガーデン見学」、2019年の晩秋には「極楽寺・稲村ヶ崎・龍口寺」を散策しました。この時の稲村ヶ崎公園から見た富士山は今でも心に残る絶景でした。コロナ明けの2023年の春には、「極楽寺・成就院・長谷寺」を巡り、直近では他地域の会員6名を含めて総勢22名で「杉本観音・報国寺・浄妙寺」の紅葉を楽しみました。私たちの「鎌倉散策」は、鎌倉ガイド協会のボランティアガイドをお願いしており、質の高い説明が一つの魅力です。協会の重鎮でおられる坂本哲夫氏(高18回)には、いつもベテランガイドとして先導いただいております。参加人数が多い時には坂本氏の他に湘南高校OBのガイドさんに案内いただけるのも、湘南蒲高会ならではのことと思います。平井隆一

※【香田追記】2024年「北鎌倉編」、2025年初夏「横須賀散策」晩秋「報告寺・旧華頂宮邸・一条恵観山荘」

◇ ◇

■鎌倉ガイド協会と坂本様 「NPO法人鎌倉ガイド協会の会長に就任した坂本哲夫さん(77歳)」



◆史跡案内も時代に合わせて

○…昨年は延べ1万5千人に、好評の自主企画「古都鎌倉史跡めぐり」の案内や歴史講演会、団体向けツアーなどを行った鎌倉ガイド協会。130人超という県内最大のガイドボランティアをまとめる新会長に就任し、「個性豊かなメンバーと楽しく活動したい。来年度の会員募集には何人応募があるかな」と期待する。「身を削って奉仕というよりも、『自分自身が楽しむ』という思い」。そう話す顔は満ち足りて見える。

○…埼玉県の寺の次男として生まれ、ワンダーフォーゲル部だった高校時代は自然の中で汗を流した。大学では造園学科へ。日本庭園やランドスケープを学び、小田急電鉄入社後は向ヶ丘遊園のフラワーショーの企画に携わり、生花を扱う小田急フロリストの社長となり植物に彩られた人生を歩んだ。

○…17年前、長谷に転居。定年退職後に入ったガイド協会でも造園知識を発揮。テレビ東京『新 美の巨人たち』の取材依頼が来た際は、「庭園のことなら坂本さん」と推され、明月院の庭園の解説役を担った。「鎌倉と京都の寺では、植物への手の入れ方が違う」。豆知識を語れば、相手から驚きの声上がる。ガイド冥利に尽きる瞬間だ。

○…史跡めぐりに加え、暑い時期は拝観や講座をメインにしたコースや歴史講演会、外国人向けの企画、現役世代が参加しやすい休日コースも開催する。一方で今年は酷暑のため、8月のガイドを初めて中止にした。デジタル化も喫緊の課題。参加者の大半が70代以上だが、ウェブからの応募は8割を超える。「新しいことは大変だけど、時代に合わせないとね。市や観光協会と連携して日本遺産に関する新企画もできたら」。今は種まきの時。花咲くことを祈って日々邁進する。【タウンニュース鎌倉版2025年7月18日より引用】

◇ ◇ 今回のガイドは坂本様の他に、協会との岩田靖久様と池田洋一様が担当してくださいました。